

## 第 20 回生コン技術大会

# 発表論文原稿作成に関する注意事項および要領

### 1. 原稿の提出及び以降のスケジュール

原稿の提出締切日は、**平成 30 年 9 月 21 日（金）必着**です。

締切日の厳守をお願いいたします。

原稿提出後の日程は、概ね次のとおりです。

※論文発表申込みと論文原稿提出を同時に行っていただく方式をとっております。

**6 月中旬**      **発表論文募集申込開始**

**9 月 2 1 日**    **論文発表申込書及び原稿提出締切**

**1 1 月下旬**   **査読結果通知及び修正依頼**

**1 2 月下旬**   **修正原稿提出締切**

**1 月下旬**      **発表採択論文の最終原稿作成依頼通知又は発表論文の不採択通知**

**2 月上旬**      **最終原稿提出締切**

### 2. 原稿の採否について

提出された原稿は、運営委員会担当者による査読を行い、不適切な部分、修正を必要とする個所については、個別にご連絡の上、対応をお願いすることになります。

論文は、主として下記の項目のいずれかに該当するかどうか重点をおいて採否を判定します。

- a. 研究の対象に新規性があり、今後の発展性がある。
- b. 研究の手法に独創性があり、今後の発展性がある。
- c. 現象の解明に貢献している。
- d. 新しい成果が盛られている。
- e. 内容に総合性、普遍性があり、かつ工学上有用である。
- f. 計画、調査、設計、製造、管理などに取り入れる価値がある。

不相当と認められるものは、例えば以下のようなものです。

- a. 執筆要領が守られていない。
- b. 主題に対する基本的考え方、理論展開、または結論を導くプロセスに根本的な誤りがある。
- c. 論文として完結していない。
- d. 新しい知見が極めて少ない。
- e. 既発表とみなされる。
- f. 内容が宣伝に偏している。但し、論文の内容を説明するためには必要不可欠であり、かつ必要最小限の情報に関しては、その限りではない。

### 3. 原稿作成上の注意

#### 3. 1 原稿の書式

原稿は、マイクロソフト社のワードで作成をお願いします。形式は、A4版（44字×42行×1段）の4または6枚のいずれかとし、図・表・写真を適切にレイアウトして下さい。

原稿は論文集への印刷時に、PDF（Portable Document Format）ファイルとして業者に引き渡します。原稿をPDFファイルとして提出できる場合は、Acrobat Distiller または Acrobat PDF（アドビシステムズ社：Adobe Acrobat に付属）ですべてのフォントを埋め込んで変換してください。（PDFに変換出来ない場合は事務局で処理します）。PDF化にあたっては、ファイル容量が700キロバイト以下に収まるように原稿を作成して下さい。論文集は、レーザー方式あるいはインクジェット方式のプリンターにより白黒印刷したものを版下原稿としてA4版に印刷します。なお、原稿には、大幅な余白を残さぬようお願いします。

原稿の上下左右の余白は、上25mm、下20mm、左25mm、右20mmにして下さい。

使用できる文字の字体（フォント）および文字の大きさを表-1に示します。

表-1 題目、著者、所属先、要旨、キーワード、本文等に  
使用する文字の字体（フォント）および大きさ

|       | 字体（フォント）の種類  |   | 文字の大きさ    |
|-------|--|---|-----------|
|       | Windows  | Mac OS  |           |
| 題目    | MS P ゴシック  | 中ゴシック、平成角ゴシック、MS ゴシック   | 16 ポイント   |
| 著者    | MS 明朝<br>Times、Times New Roman（外国人）                  | 細明朝、平成明朝、MS 明朝  | 10.5 ポイント |
| 所属先   | MS 明朝<br>Times、Times New Roman（外国の企業、組織等）            | 細明朝、平成明朝、MS 明朝  |           |
| 要旨    | MS 明朝<br>英数字は Times、Times New Roman                  | 細明朝、平成明朝、MS 明朝<br>英数字は Times、Times New Roman                                |           |
| キーワード | MS 明朝<br>Times, Times New Roman（日本語訳のないテクニカルタームなど）   | 細明朝、平成明朝、MS 明朝  |           |
| 本文    | 章、節、項：MS ゴシック<br>本文：MS 明朝、英数字は Times、Times New Roman | 章、節、項：中ゴシック、平成角ゴシック、MS ゴシック<br>本文：細明朝、平成明朝、MS 明朝、英数字は Times、Times New Roman |           |

#### 3. 2 題目

題目は1行目の4文字目から記載して下さい。

題目が2行になる場合の第2行目の書き出しは、第1行の頭に合わせて下さい。

#### 3. 3 著者

著者は、題目から2行あけて、中央揃え（センタリング）で記載して下さい。発表者を筆頭著者として下さい。文字のフォントと大きさは上記の表-1に示したとおりです。題目下に記載できる著者名は5名までで、発表者名の前に○印をつけてください。○印の発表者は全生連に加盟する工業組合または協同組合の職員、所属する企業の役員・従業員に限ります。連名者4名の所属は限定

れません。5名の所属については1頁目の最下段（欄外）に記載して下さい。6名以上の共同研究者を記載したい場合は論文の末尾に記載してください。

### 3.4 所属先

所属先については、各著者の右に付した\*（アスタリスク）+数字に対応する脚注として、記述して下さい。所属は3行以内に収まるようにして下さい。なお、**所属先は、表彰状、優秀論文賞賞状に記載されます。論文原稿および調査書の提出後は、変更を受け付けませんのでご注意ください。**

[注]法人種別は(株)(有)(一財)(一社)等の省略形としても良い。法人の省略形の記載には、記号の(株)および(有)等は文字化けの原因になるので使用しないこと。法人名は正式の名称で表示し、JR、NTT、JH等の“通称”は用いないこと。

所属を委員会名にする場合、第三者が見た時、容易に委員会の趣旨が分かることが望ましい。

### 3.5 要旨

著者名から2行あけて、ゴシック体の「**要旨:**」に続けて記載して下さい。

要旨の長さは、4行から7行まで（概ね150字から270字程度）とします。

### 3.6 キーワード

キーワードは、要旨の下に、1行空けて、ゴシック体の「**キーワード:**」に続けて記載して下さい。

キーワードは、できるだけ2行以内に収まる語数として句読点（、）で区切ります。

### 3.7 本文

#### (1) 書式

本文は、キーワードのあとに1行あけて記載して下さい。

章、節、項の見出しは、左端から、下記の[例]のように書き起こし、それだけで1行とって下さい。また、各章の見出しの上側は1行空けて下さい。

[例] (章) 1. ○○○○○○  
(節) 1. 1 ○○○○○○  
(項) (1) ○○○○○○  
① (箇条書き)  
②

#### (2) 内容

① 文章内の句読点は“、”と“。”で統一して下さい。

② 必要な場合を除き、宣伝に偏した記述は避けてください。また、使用材料で製品名は使用しないで下さい（必要があれば記号（T社等）で表記）。

### 3.8 数式

数式は極力簡潔にまとめ、式の番号は(1)(2)(3)とし、式の最後に右寄せにして記します。

文中での呼称は、式(1)、式(2)とします。式または式の群の上下は1行空けて下さい。

[記載例]

$$Y=ax^2+bx+c \quad (1)$$

### 3. 9 単位

単位は SI 単位とします。

#### 3. 1 0 図・表・写真の作成方法

- ① 図・表・写真は、本文に近いところに配置してください。ページ幅一杯にならない図表は右寄せにしてください。また、同一内容のデータ表とグラフ等との重複は避けてください。
- ② 図および写真は、カラーを使用するのはかまいません。しかし、論文集は白黒印刷されるので、原稿作成時に白黒印刷をして内容が理解できることを確認してください。
- ③ タイトルの文字の字体（フォント）および大きさは表-2 の通りです。また、本文中で図・表・写真の番号を記述する場合もゴシック体として下さい。

表-2 図・表・写真に使用する文字のフォントおよび大きさ

|        | 字体（フォント）の種類                     |                                      | 文字の大きさ      |
|--------|---------------------------------|--------------------------------------|-------------|
|        | Windows                         | Mac OS                               |             |
| タイトル   | MS ゴシック、MS P ゴシック               | 中ゴシック、平成角ゴシック、MS ゴシック                | 10.5 ポイント   |
| 図・表の文字 | MS 明朝、MS ゴシック、MS P 明朝、MS P ゴシック | 細明朝、中ゴシック、平成明朝、平成角ゴシック、MS 明朝、MS ゴシック | 本文と同程度が望ましい |

- ④ 図・表・写真は本文と区別できるように、番号・タイトルを含む領域の上下を本文から 1 行ずつあけ、左側に本文が入る場合には、本文から各行 2 字分空けて下さい。
- ⑤ 図・写真の番号およびタイトルは図・写真（位置）の下に、表の番号およびタイトルは表の上記入して下さい。
- ⑥ 図-1 および表-3 に示すように、図・表中の線の太さや文字に留意して下さい。ワープロで作図・作表する場合は、図・表の外枠の線の太さは、概ね 1.5 ポイント、中の線は 0.5~1 ポイント程度が適切です。図・表中の文字は、読み取り易い大きさを確保して下さい。

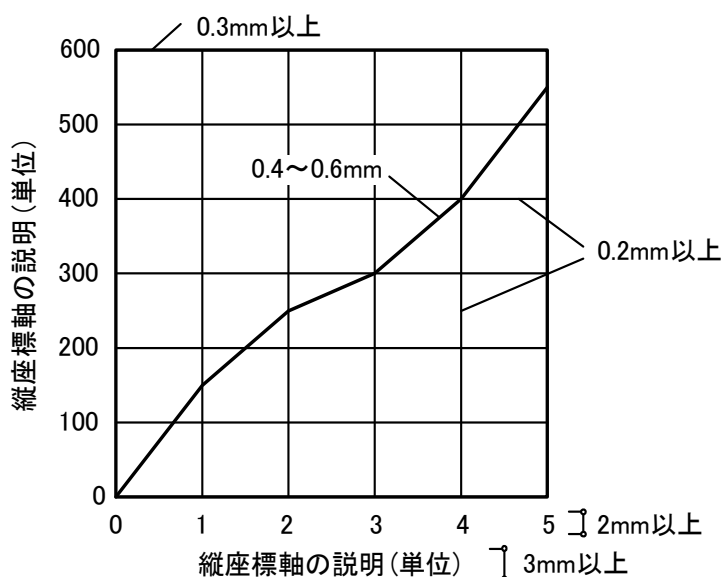


図-1 図の良い例と作図参考寸法

表-3 コンクリートの配合表 (表の例)

| 粗骨材の<br>最大寸法<br>(mm) | スラ<br>ンプ<br>(cm) | 水セメ<br>ント比<br>(%) | 空気量<br>(%) | 細骨<br>材率<br>(%) | 単位量(kg/m <sup>3</sup> ) |           |          |          |           |
|----------------------|------------------|-------------------|------------|-----------------|-------------------------|-----------|----------|----------|-----------|
|                      |                  |                   |            |                 | 水<br>W                  | セメント<br>C | 細骨材<br>S | 粗骨材<br>G | 混和剤<br>Ad |
| 20                   | 8                | 47                | 4          | 35              | 150                     | 319       | 650      | 1217     | 0.798     |
| 40                   | 8                | 44                | 4          | 34              | 153                     | 348       | 621      | 1210     | 0.870     |
| 40                   | 8                | 44                | 4          | 34              | 153                     | 348       | 621      | 1210     | 0.870     |

⑦ 内容上どうしても同一ページに載せる必要がある場合を除き、複数の図表のみのページを作る  
ことのないよう、割付に配慮して下さい。

### 3. 1 1 参考文献

- ① 参考文献は、投稿時に既発表のものに限ります。
- ② 引用、参考とした文献名は、使用順に 1)、2) のように番号をふり、「結論」あるいは、「ま  
とめ」のあとにゴシック体の「参考文献」と表示（文字の大きさは 10.5 ポイント）したあと、列挙  
して下さい。
- ③ 文献番号は、本文中または引用した図・表・写真のタイトルの最後に、上付数字で 1)、2)、3) … の  
ように明記して下さい。
- ④ 記載方法
  - a) 論文等の場合  
著者名：題名、誌名、Vol.、No.、掲載ページ、発行年月の順とします。
  - b) 単行本の場合  
著（編）者名：書名、発行所名、掲載ページ、発行年の順とします。
  - c) 和文原稿の著者名は必ずフルネームで記して下さい。もし、連名者が多い場合には、筆頭著  
者以外を「ほか」として省略しても結構です。
  - d) 欧文文献の著者名は、姓を先に記し、名はカンマのあとにイニシャルで示す。  
また、連名者が多い場合には、et.al.として省略して結構です。
  - e) 発行年月  
和文原稿の場合、西暦に統一して、1988.11,1991.2 のように記す。  
欧文文献では、Nov. 1988, Feb. 1991 のように記して下さい。

[記載例]

#### 参考文献

- 1) 日本コンクリート工学協会編：フレッシュコンクリートの単位水量迅速測定及び管理システム調  
査研究委員会報告書、pp.10-16、2005
- 2) 岡田 清、六車 熙編：コンクリート・ハンドブック、朝倉書店、1981
- 3) 森田司郎ほか：RC 外部柱・梁接合部の耐力と変形性状、コンクリート工学年次論文報告集、Vol.9、  
No.2、pp.175-180、1987.6
- 4) Malhotra, V. M.: Superplasticized Fly Ash Concrete for Structural Applications, Concrete International,  
Vol.8, No.12, pp.28-31, Dec.1986
- 5) Collins, M. P. and Mitchell, D.: Shear and Torsion Design of Prestressed and Non-Prestressed Concrete  
Beams, PCI Journal, Vol.25, No.5, pp.32-100, Sep./Oct.1980

#### 4. 原稿の締切および提出方法

原稿は、平成30年9月21日(金)17時 [必着]までに、下記Eメールアドレス宛に、メールに添付して提出してください。その際、メールの件名は「第20回生コン技術大会論文発表申し込み」としてください。なお、PDFファイル提出していただく場合は、変換後に印刷して、原稿のイメージがワードプロセッサで作成したものと変わっていないかを必ず確認して下さい。特に、PDFファイル変換後にページ数が7ページ以上に増えている場合があるので、よく確認して下さい。

メールによる提出ができない場合は、原稿（A4版に印刷したもの）、調査書およびそれらのワードデータの入った記録メディア（CD-R等）を郵送または宅配便にて下記に送付して下さい（封筒の表には第20回生コン技術大会論文原稿在中と表記して下さい）。提出された記録メディアは返却いたしませんので、ご注意ください。

なお、締切を過ぎた場合は、原稿を受付けない場合もあるので、期限を厳守して下さい。

#### [提出先]

〒104-0032 東京都中央区八丁堀 2-26-9 グランデビル 4階  
全国生コンクリート工業組合連合会 第20回生コン技術大会 運営委員会  
TEL：03-3553-7231  
E-mail：Ckikaku@zennama.or.jp

#### 5. 著作権

掲載された論文等の著作権は全国生コンクリート工業組合連合会に譲渡するものとします。ただし、著者本人が複製（複写、転載）することは妨げません。

#### 6. その他

- ① 発表要領については、最終原稿完成後、ご連絡いたしますが、マイクロソフトパワーポイントによる発表と致します。
- ② 疑問点、不明な点等がありましたら、生コン技術大会担当(企画部 TEL：03-3553-7231)までご連絡下さい。

以上